

# 2019年の鳥取県の夏の天候経過

## 鳥取地方気象台

### 鳥取県の夏(2019年6月～8月)の天候経過

・夏(6～8月)は6月下旬前半にかけては、梅雨前線の北上が遅く、平年に比べ晴れた日が多くなり、6月下旬後半から7月下旬前半にかけては梅雨前線や湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多くなった。

7月下旬後半から8月前半にかけては、高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、その後は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。梅雨入りは6月26日ごろで統計のある1951年以降で最も遅くなった。

年	平均気温 平年差℃ (階級) 中国地方	降水量 平年比% 上段：山陰 下段：山陽	日照時間 平年比% 上段：山陰 下段：山陽
2019	+0.2 (0)	96 (0)	96 (－)
		112 (0)	93 (－)

階級 =：かなり低い(かなり少ない) -：低い(少ない) 0：平年並 +：高い(多い) ++：かなり高い(かなり多い)

# 鳥取県で発生した主な気象災害(2019年)

被害状況は、鳥取県、JR西日本、中国電力、報道機関等の情報による。

## 7月9日の大雨による山がけ崩れなど

上空の寒気や湿った空気の影響で、9日未明から朝にかけて鳥取県西部の一部で大雨となった。この大雨により、鳥取県内で住家の床下浸水2棟、林道の被害2箇所が発生した。鉄道は、伯備線で特急の運転取り止めや遅れが発生した。道路は県内の5箇所で開催止めとなった。

## 7月18日から19日にかけての大雨

18日から19日にかけて梅雨前線や湿った空気の影響で鳥取県では断続的に雨が降り、大雨となった所があった。この大雨の影響で、山陰本線、伯備線、智頭急行・因美線で列車の運転の取り止めが相次いだ。

## 9月23日の台風第17号による強風害

22日から23日にかけて台風第17号が山陰沖を北東に進み、23日09時に温帯低気圧に変わった。その後23日夜にかけて最大風速25メートルの勢力を保ったまま日本海を北東に進んだ。鳥取県では、23日の明け方から朝にかけて台風が最接近し、強風により負傷者が出たほか、民家の一部損壊、果実の落下などの農業被害が発生した。

## 10月12日から13日にかけての台風第19号による強風害、土石流害など

12日から13日にかけて台風第19号の影響で風や雨が強まった。鳥取県では、強風により転倒するなどして負傷者が出たほか、住家の一部破損、鉄道の運休や航空便の欠航、停電、農作物や農地等への被害、林道への被害などが発生した。

## 4月から10月にかけての高温による酷暑害

7月下旬から8月中旬にかけて気温が平年より高い日が多く、7月から9月にかけて猛暑日(日最高気温35℃以上の日)日数は鳥取で20日、米子で13日、日最低気温25℃以上の日数は鳥取で19日、米子で27日を記録した。高温の影響で鳥取県内で熱中症またはその疑いにより搬送された人員数は、7月が125人、8月が205人、4月29日から10月6日までの集計期間では461人であった。

## 2019年の台風の発生数、上陸数及び中国地方(山口県を除く)への接近数

### 発生数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2019	1	1				1	4	5	6	4	6	1	29

### 発生数(平年値)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
1981~2010	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

### 上陸数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2019							1	2	1	1			5

### 上陸数(平年値)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
1981~2010						0.2	0.5	0.9	0.8	0.2			2.7

上陸は台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指す。

### 接近数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2019						1	1	2	1	1			6

### 接近数(平年値)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
1981~2010						0.3	0.5	0.8	0.9	0.2			2.6

台風の中心が鳥取県、島根県、岡山県、広島県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「中国地方(山口県を除く)に接近した台風」としている。

# 2020年夏の天候の見通しについて

## 鳥取地方気象台

### 最新の3か月予報

**中国地方 3か月予報**  
(6月から8月までの天候見通し)

令和2年5月25日  
広島地方気象台 発表

**<予想される向こう3か月の天候>**  
向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
この期間の平均気温は、高い確率50%です。

6月 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

7月 期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

8月 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。

**<向こう3か月の気温、降水量の名階級の確率(%)>**

**【気温】**  
[中国地方]  
3か月

20	30	50	
6月	20	40	40
7月	20	40	40
8月	20	30	50

**【降水量】**  
[中国地方]  
3か月

30	30	40	
6月	20	40	40
7月	30	40	30
8月	40	30	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

**<次回発表予定等>**  
1か月予報:毎週木曜日 14時30分 次回(は)5月28日  
3か月予報:6月24日(水) 14時  
なお、6月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。  
また、暖候期予報として発表していたこの夏(6~8月)の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

**中国地方 1か月予報**  
(5月23日から6月22日までの天候見通し)

令和2年5月21日  
広島地方気象台 発表

**<予想される向こう1か月の天候>**  
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。  
向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。  
週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、高い確率50%です。

**<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>**

【気温】中国地方	10	30	50
【降水量】中国地方	20	40	40
【日照時間】中国地方	40	40	20

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

**<気温経過の各階級の確率(%)>**

1週目 中国地方	10	30	50
2週目 中国地方	20	40	40
3～4週目 中国地方	20	30	50

凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

**<予報の対象期間>**  
1か月 : 5月23日(土)～ 6月22日(月)  
1週目 : 5月23日(土)～ 5月29日(金)  
2週目 : 5月30日(土)～ 6月 5日(金)  
3～4週目 : 6月 6日(土)～ 6月19日(金)

**<次回発表予定等>**  
1か月予報: 毎週木曜日 14時30分 次回は5月28日  
3か月予報: 5月25日(月) 14時

## 鳥取県で大雨の可能性が高まるとき

鳥取県では主に、

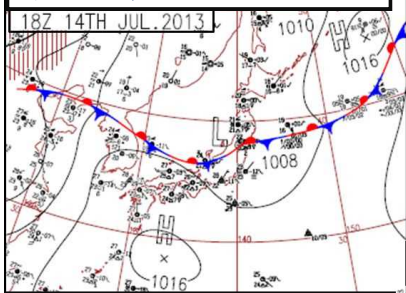
- 梅雨前線（梅雨末期）
- 台風

により、大雨となることが多い。

# 梅雨前線による大雨

## 平成25年7月15日の大雨

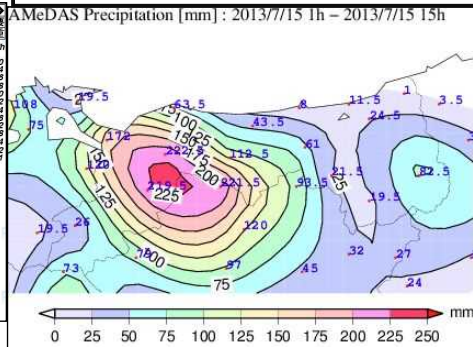
平成25年7月15日03JST



気象レーダー10JST

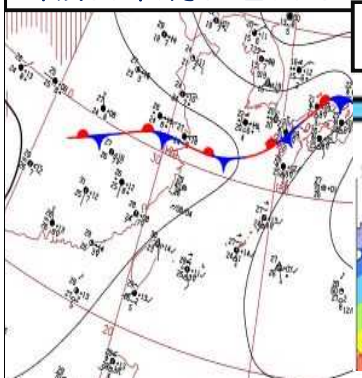
2013/07/15 10:00 鳥取県気象台

アメダス積算雨量分布図 01JST-15JST

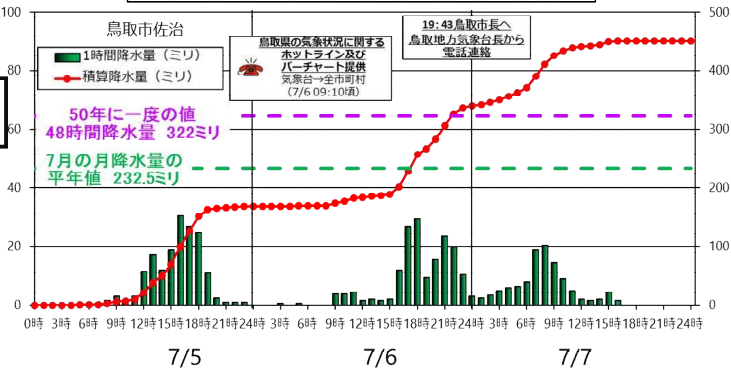
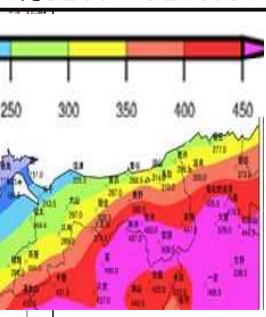


## 平成30年7月豪雨

平成30年7月6日21JST



アメダス積算雨量分布図  
7月3日00~9日10JST



気象庁  
Japan Meteorological Agency

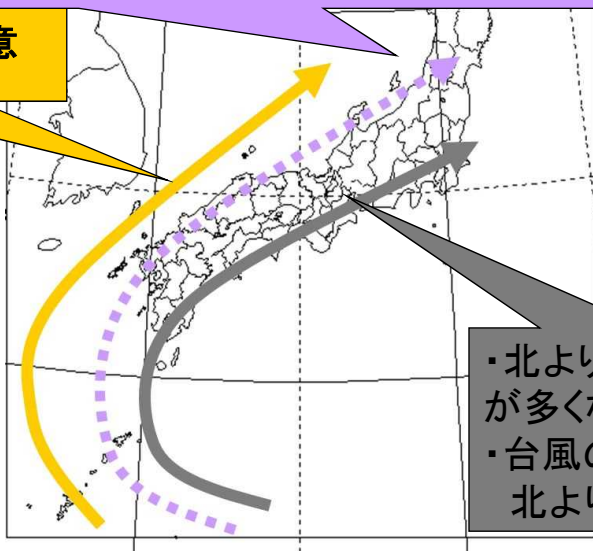
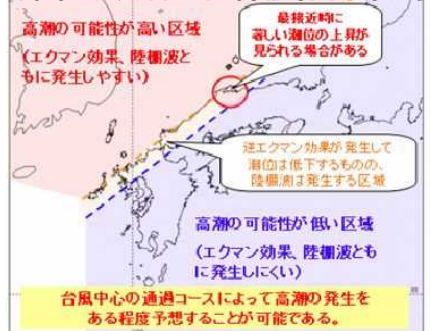
9

# 鳥取県の災害特性（台風の進路別による）

- ・南よりの強風に留意
- ・雨は多くない傾向
- ・台風(通過後)の高潮に留意

- ・台風が通過するまでは南～東の強風、通過後は北～西風の強風に留意
- ・大雨にも留意

鳥取県における台風時の高潮（予報別）から



- ・北より風で地形性降水が多くなる大雨に留意
- ・台風の規模によっては北よりの強風に留意

気象庁  
Japan Meteorological Agency

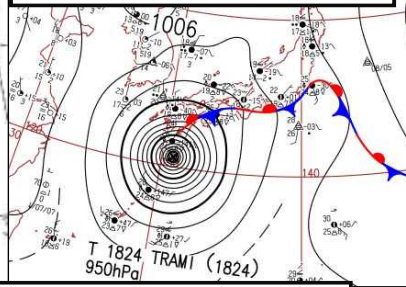
10

# 台風による顕著現象例

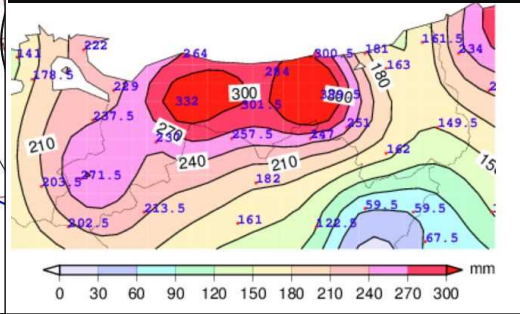
平成30年台風第24号



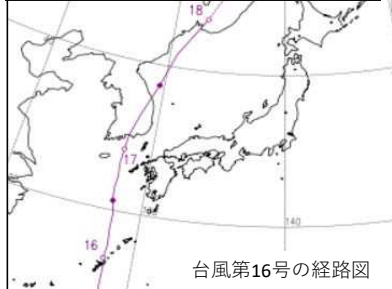
平成30年9月30日09JS  
T



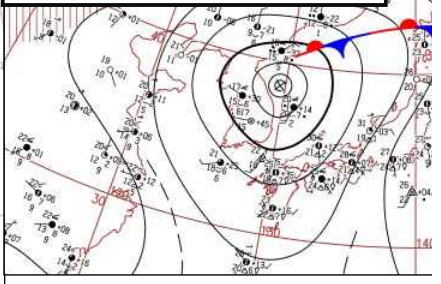
AMeDAS Precipitation [mm]: 2018/9/29 1h - 2018/10/1 3h  
アメダス積算雨量分布図 9月29日01JST - 10月1日03JST



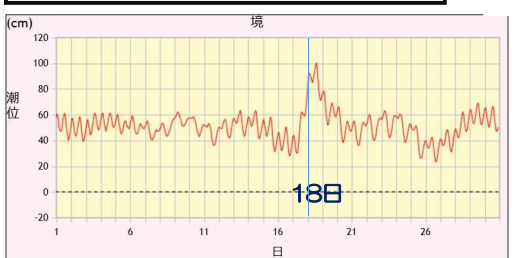
平成24年台風第16号



平成24年9月17日21JS  
T



平成24年9月 境検潮所 潮位表 (標高)



注意  
 ・グラフの縦軸は潮位、横軸は日付を示しています。  
 ・毎時潮位は標高で表示しています。

ご清聴ありがとうございました

